

クラス運営に関するFD研修を開催

岐阜高専では、8月18日（火）に大分高専の坪井泰士校長を講師に迎え、教職員を対象にFD研修として「クラス運営ワークショップ」を開催しました。

このワークショップでは、「高専における担任って、何をすればいいの?」と題した坪井校長の実体験に基づくクラス運営や学生指導に関する特別講義のほか、グループワークを行いました。学級担任は何のためにいるのか、学生面談は何のために行うのか、保護者との連携はどうやればいいのか、様々なケースで学級担任はどのように行動すればいいのか、等クラス運営で悩む学級担任からの問いに、坪井校長から事例に適した助言をいただきました。

参加した教職員からは、「学生や保護者との関係づくりの大切さを再確認した」「クラス運営に関する具体的な事案を題材に意見を共有し助言をいただけたことで、様々な事案への向き合い方について理解を深めることができた」等の感想が寄せられました。

今後も、定期的に教職員向け研修をおこない、教育の質的向上や教職員の能力および資質向上に取り組んで参ります。



講演される坪井校長